湖南高校だより

挑戦・反省・成長

そば収穫祭

十二月十八日(月)、「蕎麦プロジェクト 収穫祭」が開催され、講師及び来賓の方々など約四十名が来校されました。開会式では、野口校長先生、講師の桑名秀一郎様、阿部敏満様からあいさつを頂きました。また、あいさつの中で今年度のそば収穫量が発表され、かねてからの目標であった収穫量百キロを達成することができました。今年度は一年生による「大地讃頌」の歌唱や過去最大の人数で行われた「湖南蕎麦口上」の披露もあり、会場は大いに盛りあがりました。そば打ち初挑戦の人も、大島蕎麦同好会の皆様をはじめとした講師の方々の丁寧な御指導のおかげで、皆で美味しいそばが食べられました。生徒からは「昨年は教わる側でしたが、今回は教える側で参加できたので成長を感じました。」といった感想がありました。調理や指導など、御協力をいただいた多くの皆様、ありがとうございました。

民話発表会

十二月十八日（月）収穫祭当日の一校時目、視聴覚室にて二学年地域ミライ探究「つたえる班」による民話の語りと劇の発表を行いました。授業内で民話に取り組むのは初の試みで、今回は一人一つの民話語りに加え、収穫祭に合わせてそばにちなんだ民話を劇形式で発表しました。

発表した生徒からは「とても緊張したけど、最後までやり遂げることが出来て良かったです」、発表を見ていた生徒からは「劇での民話発表を見て、湖南民話がもっと多くの人に伝わる可能性を感じました」などの感想がありました。民話のふるさと湖南継承会代表の西田忍様、学校運営協議会会長の小山伝一郎様をはじめ、今回の民話発表にあたり御協力いただいた多くの皆様、ありがとうございました。

発行
福島県立湖南高等学校
湖南高校長野口智行

校訓

誠実　勤勉
志高　聡明
自律　協同

インターンシップ

十一月八日（水）から三日間、二学年がインターンシップに行ってきました。今年度も、渡富建設株式会社、中地手打そばＭＡＲＵ壱をはじめ、多くの方々に御協力をいただきました。生徒は販売・製造・介護・保育等のさまざまな現場を体験し、働くことの厳しさややりがいを肌で感じ取ってくれたようです。二年生からは「日頃から言われているメモをとることの大切さを実感しました。」「挨拶が一番大事という言葉を忘れず、実践していきます。」「今まで意識してこなかった業界にも興味がわき、自分の世界が広がりました。」といった感想があり、三日間を通して学校で学んできた内容をより深めることができました。これからの本格的な進路活動に向けて、この経験を活かしていきます。

プレ・インターンシップ

十一月八日（水）、一学年が地域カダイ探究「プレ・インターンシップ」に行ってきました。今回お世話になったのは、株式会社美農然、地域介護支援センターにじのかけはし、株式会社南東北クボタ湖南営業所、湖南精肉店、福良郵便局、湖南行政センターの皆様です。各職場では、仕事についての説明や模擬体験などをさせていただきました。

一年生からは「働くことについて、収入ばかり考えていましたが、それぞれの仕事に達成感ややりがいがあるんだということが分かりました。」といった感想があり、湖南町で実際に働いている方々の仕事に直接触れることで、地域や働き方についての理解をより深められました。御協力いただいた企業の皆様、お忙しい中丁寧な御対応をいただきありがとうございました。

進路体験発表会

十二月十五日（金）の六時間目、一・二年生を対象に進路体験発表会を実施しました。三年生の先輩八名（進学四名・就職四名）のこれまでの進路活動における体験談から、進路実現のために必要なアドバイスがされました。下級生からは「行事への取り組みや日々の勉強がどれだけ進路に結びついているかが分かりました。」「面接練習も近づいてからやるのではなく、日頃の受け答えや自分の意見を持つことが大切だと学びました。」といった感想がありました。先輩方の実体験に基づくアドバイスは、これから進路選択や進路実現に向けて取り組んでいく一・二年生にとって大きな励みとなったことと思います。

城北埼玉訪問

十一月二十四日（金）、二十五日（土）の二日間、昨年度から交流をしている城北埼玉高校に本校の一・二年生の代表生徒四名が行ってきました。生徒は授業に参加し、男子校ならではの活気ある取り組みや自分の発想を活かして積極的に学びの販売などを行いました。参加した生徒も来場者の皆さんも心から楽しめる素敵なイベントとなりました。これからも湖南高校では共生社会の実現に向け、地域の皆さんとともに取り組んでいきます。

ふくにじマルシェ

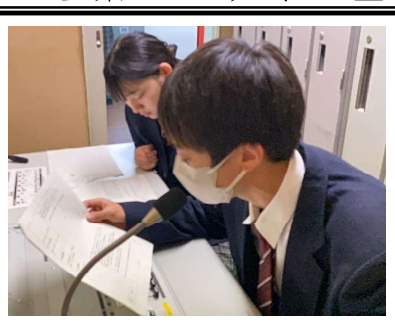
十二月九日（土）、サンサングリーン湖南にて開催された、「ふくにじマルシェ２０２３in湖南」に本校ボート部と「発達と保育」の授業選択者が参加しました。この催しは、「障がいへの理解が少しでも広がり、障がいの有無に関係なく豊かな人間関係を築く」ことを目指しており、本校もこの趣旨に賛同し、参加しました。生徒はローイングマシンによるタイム測定会やmogu・mogu様とのコラボ商品「湖南the3rd」の販売などを行いました。参加した生徒も来場者の皆さんも心から楽しめる素敵なイベントとなりました。これからも湖南高校では共生社会の実現に向け、地域の皆さんとともに取り組んでいきます。

月には、城北埼玉高校の生徒が再び湖南高校に来校し、湖南の雪文化を通じて交流する予定です。今後も両校の生徒が互いに学びを深め合っていきます。

KONAN

猪苗代湖と磐梯山をモチーフにしたこのロゴは、校内の『湖南町のロゴを勝手につくっちゃお』企画で選ばれた作品です。今後、湖南町の諸機関と共有し、町の振興に活用していきたいと思っています。ご賛同頂ける方は、どうぞ湖南高校までご連絡ください。

湖南高校まるわかりの近道、学校ホームページは常時更新しています。下記のQRコードからご覧下さい。

編集後記

湖南高校では生徒の健康のため様々な取り組みがされています。十一月十三日（月）から一週間、昼休みに保健厚生委員がKNN湖南放送局のラジオパーソナリティとなり、朝食と歯と口の健康について放送で呼びかけました。この他、生徒のリクエストソングコーナーや歯磨き実施率の掲示といった取り組みの結果、最終日の歯みがき実施率は八十％以上となりました。今後も楽しく！健康的な生活を！　猪苗代子